

さつきやま魂

崎山中学校だより
3月2日 第20号
文責 校長 山下

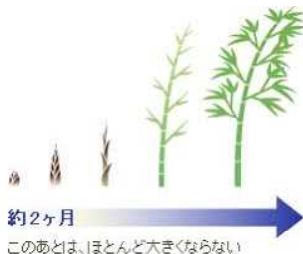


いよいよ卒業、修了の月を迎えました。3年生の教室には、「卒業まであと〇〇日」という掲示があり、残り少ない中学校生活の一日一日を大切にしようとする気持ちが伝わってきました。3年生は、その前に、進路実現という大きな目標があります。まずは、体調を整え来週の入試に臨んでほしいと思います。

「竹」が空に向かってまっすぐに伸びる様子は、子どもの成長する姿によく例えられます。竹は、種から発芽するまで数年かかり、その間地下に数メートルもの根を張って準備をするそうです。芽を出した竹は、節目ごとに成長点をもっており、根から吸い上げた養分を伸びる力に変えています。1日に1m近く成長することもあり、約2か月で20mにもなります。つまり、「竹は節目があることで成長する」のです。また、竹の中は空洞になっていても関わらず、背の高い竹が、強風で折れたり割れたりすることは滅多にありません。節があることで、強風などを受けても、しなやかに、そしてしっかりと受け止めているからです。つまり、「竹は節目によって強くなっている」のです。

私たちの人生にも数多くの節目があります。この3月も一つの大きな節目です。3年生は、三年間の中学校生活でいろいろなことを学びました。卒業を前に、今までの生活を振り返り、自分自身の成長を確かめてください。そして、4月から始まる新しい生活に向け、準備を進めてほしいと思います。1・2年生は、進級を控え、新しい崎山中学校を築いていくための心構えをする期間となります。

この3月から4月にかけて1か月の節目は、自分自身を大きく成長させるチャンスです。意識の持ち方一つで、行動が大きく変わります。さつきやま魂の精神で、4月から始まる新しい生活に向けて、気持ちを高めてほしいと思います。



約2ヶ月
このあたりは、ほとんど大きくなる

不審者対応訓練から

2月26日(金)に不審者対応の訓練を行いました。この訓練は、平成13年に大阪教育大学附属池田小学校で児童・教員計23名が殺傷されるとい痛ましい事件をきっかけに、全国的に実施するようになりました。実際に五島市内でも不審者情報があり、その都度、生徒には、「いかのおすし」の啓発等を行っています。



今回は、校内に不審者が侵入してきた場合、「どのような対応をするか。どのように避難するか。」を中心に訓練し、子どもたちの防犯に関する意識や知識を高めることを目的に実施しました。教員が不審者役をして実施しましたが、生徒は予想以上に恐怖感を抱いていたようです。私たち教員も指示や連絡体制を再確認することができました。



いかのおすし



高校入試(後期)

3月9・10日には、公立高校入試(後期)が行われます。頑張れ！
3年生



「継続は力なり」

2月28日に行われたびわ湖毎日マラソンで、富士通の鈴木健吾選手が2時間4分56秒の日本新記録で優勝した。これは、従来の記録を30秒以上短縮するという驚異的なもので、鈴木選手の自己記録も5分以上更新したという。

鈴木選手は、愛媛出身で神奈川大学に進学。箱根駅伝には4年連続出場し、3年時には、エース区間の2区で区間賞に輝いている。当時の大後監督は、「(練習)止めるのが大変な選手。背中中で引張った主将。」と言っている。しかし、社会人になってからは、怪我に苦しみ、昨年の同大会も12位という悔しさも味わった。その後、2時間ジョギングを繰り返すなど、こつこつと努力し今回の結果につながっている。富士通の福嶋監督は、鈴木選手のことを「継続する力が強み」と評する。こつこつと努力すること、毎日の積み重ねが大切なことを感じさせられた鈴木選手の走りだった。